

## 第3次「石油化学産業における環境整備等検討会」の答申の件

2018年4月10日  
石油化学工業協会

昨年3月より「定修工事に係る課題および今後取り進むべき方策」を検討してまいりました標記第3次「石油化学産業における環境整備等検討会（略称：「石環検」）」が、「答申」を次の通り取りまとめましたので、ご報告申し上げます。

### 1. 第3次石環検再開の背景と経緯

政府が推進する「働き方改革」において、時間外労働時間規制の導入が決まり、一方で少子高齢化による労働力不足から、定期的に設備補修・更新工事（以下「定修」）を実施する石油化学産業は大きな影響を受けざるを得ない。

定修については、段階的に間隔の拡大（1年から4～8年へ）を進めてきたが、付随的に1回当たりの工事量の増大、日数の長期化、時期の集中、加えて担当社員および工事会社従事者の技能の低下（熟練工の不足）など問題を抱える状況となり、定修の見直しは業界の「喫緊の課題」となっている。

石油化学工業協会（略称：石化協）では、会員各社の強い危機感から、「第3次石環検」を再開し、検討を進めることとし、今般「答申」を取りまとめた。

### 2. 検討実績（第3次石環検3回開催および定修検討WG11回開催）

| 項目                      | 時期     | 概略活動内容   |
|-------------------------|--------|--|
| 1.問題点の把握および評価           | 5～7月   | 定修工事が抱える問題点を、社内/社外に分け、設備・工事量・法規制などの項目別にアンケートを実施し、評価を実施     |
| 2.工事受注会社からのヒアリングおよび意見交換 | 8月     | 定修工事の受注会社の業界団体である「日本メンテナンス工業会」から、当該工業会が抱える課題の説明を受け、意見交換を実施 |
| 3.課題の抽出                 | 9～10月  | アンケートからの問題点、日本メンテナンス工業会からの説明に基づき、各項目別に課題抽出を実施              |
| 4.課題の絞り込みと解決に向けた方策の策定   | 11～12月 | 抽出した課題を重点課題に絞り込み、重点課題を対象に解決策を立案                            |
| 5.答申案の策定                | 1～2月   | 重点課題から策定された解決策に基づき、第3次石環検「答申案」を立案                          |
| 6.答申の了承及び提出             | 3月     | 答申案は、第3次石環検の了承を得て、3/20の理事会に報告し、4月に経産省（製造産業局長宛）に提出予定        |

### 3. 第3次石環検の組織

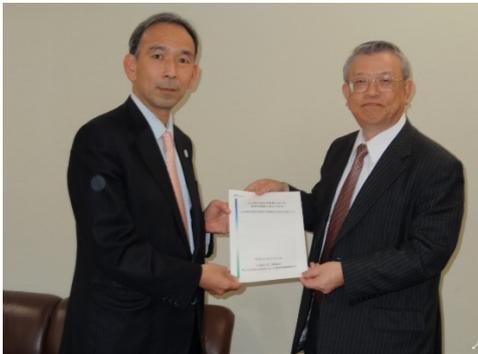
定修の重要性から**運営委員会幹事会社13社**で構成し、検討のために実務に通じた各社の生産技術部門で役員・部長層からなる**定修検討ワーキンググループ**(以下「WG」)を設置した(WG委員は、答申添付の名簿をご参照願います)。

### 4. 「答申」の内容

詳細は「答申」をご参照願います。

### 5. 経済産業省への「答申」提出

4月5日、経済産業省/多田製造産業局長および湯本素材産業課長に、石化協/大村第3次石環検座長、岡野同定修検討WG座長、志村専務理事より、「答申」を提出し、内容の説明を行った。



【答申提出】多田製造産業局長および大村第3次石環検座長



【答申説明】全体



多田局長および湯本課長



岡野WG座長、大村石環検座長、志村専務理事

以上